

新潟県中越地震

市内各所で義援金を受け付け

10月23日午後5時56分、新潟県小千谷市を震源地とする震度7の大地震が発生しました。そして周辺地域を中心に死者39人、住宅被害11,696戸(消防庁調べ)11月8日現在(におよび一時は10万人が避難するという大災害となりました。市では発生直後より被災地への支援物資の輸送や、市内各所での義援金受け付けを行っています。皆さんのご協力をお願いします。



市内22カ所に義援金箱

市では、新潟県中越地方で発生した新潟県中越地震の被災者、被災地に対し、社会福祉課と社会福祉協議会の窓口で新潟県中越地震災害義援金を受け付けています。なお、下記の公共機関にも義

援金箱を設置してあります。また郵便振替も利用できますので、皆さんの協力をお願いします。

義援金箱設置場所

市役所玄関ホール、議会議場1階
会計課窓(市役所1階)、社会福祉協議会(保健福祉館内)、各公民館
(中央・成田・橋賀台・玉造・久

住・豊住・八生・公津・中郷・加良部・遠山)、美郷台地区会館、卸売市場事務所、市体育館、国際文化会館、市立図書館、三里塚消防署
郵便振替
受付期間 12月30日(木)まで
口座番号 10053022200
口座名義 日本赤十字社新潟県支部

そのほか「通信欄」新潟地震」と明記、振替手数料は無料(窓口のみ)
なお、義援金箱については、自分の間設置いたします。

くわしくは社会福祉課 ☎ 536(または社会福祉協議会 ☎ 277755)へ。

郷里と連絡が取れず不安でした



市内と周辺市町村の新潟県出身者でつくる「成田新潟県人会」会長の星 謙さん(橋賀台)

実家が震源地に近い湯之谷村(現在は魚沼市)なので、今回の地震には本当に驚きました。連絡しようにも電話が通じず不安でしたが、4日目ようやく連絡を取ることができました。現在の会員は65人ほどで、その内24人が被災地域の出身者です。家族や親類の人がけがをしたり家が倒壊したりした人もいました。成田市では、地震後すぐに救援物資の搬送や義援金箱の設置などが行われ、新潟県人として大変ありがたく思っています。会でも新聞社を通じ義援金を送りました。今後の復興に向け、わたしたちができることを考えているところです。

震源地に近い町は壊滅状態でした



余震の続く中、市職員3人と川口町に支援物資を届けた小川利雄 助役

地震から3日たった26日の夕方に成田を出発、常磐・磐越自動車道を通り新潟に入りました。長岡からは交通規制が行われ、通行できるのは許可車両のみ。路面は段差だらけで、震源地域に近づくにつれ激しく波打っていました。新潟県より指定された川口町役場の災害対策本部に着いたのは27日の早朝6時。支援物資を降ろし外に出ると、電柱は傾き、家は壊れ、町は壊滅状態でした。帰りは、途中大きな余震に遭いながらも、関越自動車道を通りその日の夕方には帰宅することができました。今回の地震は本市にとっても対岸の火事ではありません。この大震災を教訓として、災害に強いまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。

予測不可能な地震災害

地震の発生を止めたり、予測したりすることはできません。日ごろから家庭、地域、行政で安全対策を行い、発生したときの被害を最小限にしたいものです。

いざというときのための持ち物の準備はもちろんなこと、防災訓練や救命講習会にも進んで参加するなど、災害に対する認識を高め、おくことが大切です。

防災についてくわしくは防災対策課 ☎ 201523(へお問い合わせください。



トラックに救援物資を積み込む市職員(10月26日・市役所で)